

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年3月4日 (2010.3.4)

【公開番号】特開2008-191351(P2008-191351A)

【公開日】平成20年8月21日 (2008.8.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-033

【出願番号】特願2007-25011(P2007-25011)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 2 B 26/08 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

G 0 2 B 26/08 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月20日 (2010.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の枠体と、

この第 1 の枠体内に第 1 の溝で分離されるとともに、

この第 1 の溝内に設けられた第 1 の支軸により、

前記第 1 の枠体に支持された第 2 の枠体と、

この第 2 の枠体内に第 2 の溝で分離されるとともに、

この第 2 の溝内に設けられた第 2 の支軸により、

前記第 2 の枠体に支持された光学反射部と、

前記第 1 の枠体にその一端を接続されるとともに、

その他端を前記第 1 の支軸に接続された第 1 の圧電振動板と、

前記第 2 の枠体にその一端を接続されるとともに、

その他端を前記第 2 の支軸に接続された第 2 の圧電振動板とを備え、

前記第 2 の支軸は前記第 1 の支軸にその軸方向が直交するよう設けられるとともに、

前記第 1 の圧電振動板の他端と前記第 1 の支軸との接続点は、

前記第 1 の圧電振動板の他端における略中央に配置する構成とした、

光学反射素子。

【請求項 2】

第 2 の圧電振動板の他端と第 2 の支軸との接続点は

前記第 2 の圧電振動板の他端における略中央部に配置する構成とした

請求項 1 に記載の光学反射素子。

【請求項 3】

第 1 の圧電振動板における他端の剛性は

前記第 1 の圧電振動板における電極端子形成部の剛性よりも低い構成とした

請求項 1 に記載の光学反射素子。